

大家連精神保健福祉講座 ②

日時 : 2019年(令和元年)7月13日(土)

13:30~16:00 (13:00受付)

場所 : アネックスパル法円坂 6階 12号室

テーマ : 「隔離・身体拘束を考える」

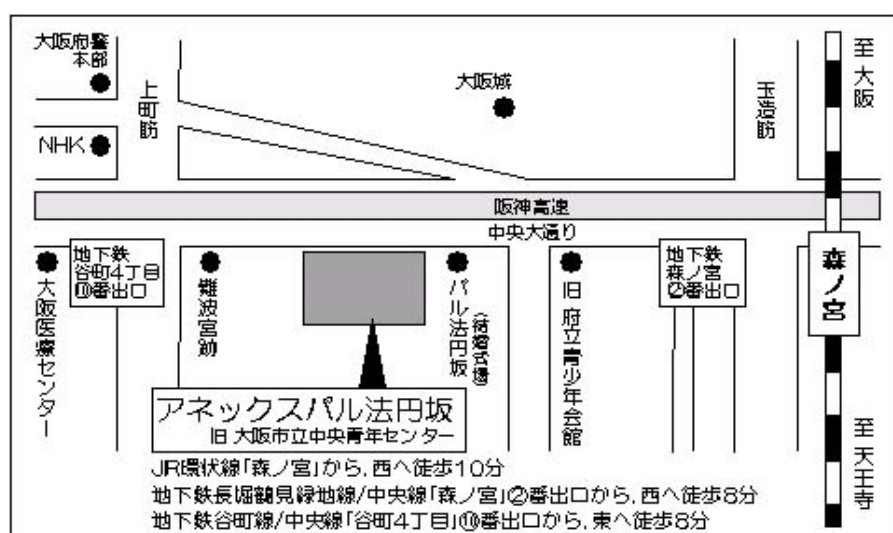
～精神科病院における隔離・身体拘束の現状と課題～

講演 : 杏林大学教授 長谷川利夫 (はせがわとしお) 氏

<講演内容>

精神科病院において身体拘束を受けた人の数が、2017年では12,000名を超え、10年間で約2倍になったと言われています。精神科病院における隔離や身体拘束は、医療の面から本当に必要なものなのでしょうか。患者はどのような処遇を受けるのでしょうか。なぜ最近件数が増加しているのでしょうか。

長谷川さんは、大学の法学部をご卒業、大手銀行に10年以上勤められた後、作業療養士の資格を取得のための学校へ入学、3年後に精神科病院へ勤務された。という経歴をお持ちです。長谷川さんの精神科医療に対する思いや、「精神科医療の身体拘束を考える会の代表」としてのご活躍のお話も期待いたしましょう。



どなたでも参加して頂けます。ご家族や当事者の方もお気軽にご参加下さい。全講座9回の内7回以上参加いただいた方には、本年度より大阪府知事から講座受講終了証が発行されます。受付にてカードをお受け取り下さい。また、資料代として 実費分100円から300円頂く場合があります。あらかじめご了承ください。

問い合わせ先 電話 06-6941-5797